

# 京都議定書目標達成計画の見直し に向けた追加対策等について

環 境 省

平成19年11月

- **国民運動の実施**
- **複数の建物からなる街区レベルや地区レベルでの面的な対策**
- **新エネルギー対策の推進**
- **廃棄物分野における対策**
- **フロン等3ガス関係の対策**
- **その他の地球温暖化対策について**

# 対策名：国民運動の実施

対策の概要	業務部門・家庭部門において、クールビズ・ウォームビズや具体的な温暖化防止行動(6つのアクション)が実践されるよう国民運動を実施する。	施策の追加・強化 追加対策
-------	--	------------------

	実績	見込み				
	2005年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度
対策評価指標						
実施率(家庭での6つのアクション*1)	14%	30~43%	31~53%	33~63%	34~73%	35~83%
実施率(職場での28℃設定(クールビズ)*2)	43%	61~63%	64~68%	66~73%	67~78%	69~83%
実施率(職場での20℃設定(ウォームビズ)*2)	45%	64~66%	67~71%	69~76%	70~81%	72~86%
排出削減量(万t-CO2)*3	341	630~784	658~919	678~1,050	694~1,184	706~1,316
・家庭での6つのアクション	143	325~468	343~579	357~688	369~799	379~909
・職場での冷房28℃設定、暖房20℃設定	198	305~316	315~340	321~362	325~385	327~407

\*1: 毎月のアンケート調査から推計した、「チーム・マイナス6%の内容を理解し、家庭において6つの取組(暖房・冷房の温度設定、節水、エコドライブ、エコ製品への買い換え、買物袋持参、待機電力減少)のうち少なくともいずれか1つを実施している国民」の割合

\*2: 毎年のアンケート調査から推計したクールビズ(28℃設定)又はウォームビズ(20℃設定)の実施率

\*3: 排出削減量については、現行の目標達成計画における既存対策や追加対策との重複を含むため、単純に不足削減量から差し引くことは出来ない。

## 排出削減見込量の算定式の概要

6つのアクション	【算定方法】 毎月1,200名に対してアンケート調査を実施し、
クールビズ	①家庭における6つの取組
ウォームビズ	②職場における冷房28℃設定又は暖房20℃設定の取組 の実施率を求め、CO2排出削減量を推計。

## 国が実施する施策

- ・1人1日1kgCO2削減国民運動推進事業
- ・地球温暖化防止「国民運動」推進事業
- ・地域における温暖化防止活動強化推進事業 等

## 国民運動

### 地球温暖化防止大規模国民運動「チーム・マイナス6%」

- 京都議定書における日本の国際的約束である、温室効果ガス排出「-6%」の実現のため、2005年4月に発足した、地球温暖化防止大規模国民運動。チームリーダーは総理大臣、サブリーダーが環境大臣。
- 「COOL BIZ」「WARM BIZ」「ハロー！環境技術」など、一人一人の日常生活での温暖化防止活動を呼びかけている。
- ウォームビズを11月1日～3月31日までの間実施するとともに、省エネ製品への買換促進など、家の中でできる温暖化対策「うちエコ」を推進する。



- チーム員数  
約 185万人
- チーム員企業・団体数  
約 1万6千団体  
(11月28日現在)

#### <6つのAction>

